

パシフィックフィルハーモニア東京
特別演奏会

室内楽の夕べ

Chamber Music Evening

もしも、私の詩に 愛の翼が あるならば。

フランセ: クラリネット五重奏曲

Francaix: Clarinet Quintet

ラヴェル: 序奏とアレグロ

Ravel: Introduction and Allegro

ブラームス: クラリネット五重奏曲 短調 Op.115

Brahms: Clarinet Quintet in B minor, Op.115

2025.4.2 [水]

19:00開演 [18:30開場]

日本製鉄紀尾井ホール

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6-5

全席指定 [消費税10%込] | 一般発売: 2/12 (水)

一般: 5,000円 U25: 1,500円

*定期会員割/シニア割(60歳以上)/ユニバーサル割: 各種10%引(一般のみ)

*U25はパシフィックフィルハーモニア東京チケットデスクのみ取扱い

■ パシフィックフィルハーモニア東京チケットデスク

03-6206-7356 (平日10-18時) [パシフィックフィルハーモニア東京](#)

■ チケットぴあ [t.pia.jp](#) [291-701] ■ イープラス [eplus.jp](#)

※本公演は、当初2025年3月28日(金)東京オペラシティ コンサートホールで開催を予定しておりましたが、弊団の諸事情により、昨年10月に日程と会場を変更させていただくことを発表いたしました。その後更なる弊団側の事情により公演内容を変更しての実施が決定しました。心よりお詫び申し上げますとともに、室内楽の妙技をお楽しみいただけましたら幸いです。

*公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねます。

*未就学児のご入場はご遠慮ください。

*やむを得ず出演者・曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



クラリネット: 亀井良信
Yoshinobu Kamei, Clarinet



ヴァイオリン: 塩貝みつる
Mitsuru Shioyai, Violin



ヴァイオリン: 菅谷 史
Fumi Sugaya, Violin



ヴィオラ: 鈴木慧悟
Keigo Suzuki, Viola



チェロ: 松本ゆり子
Yuriko Matsumoto, Cello



フルート: 難波 薫 [ゲスト]
Kaoru Namba, Flute



ハープ: 篠崎和子
Kazuko Shinozaki, Harp

伝統に「革新」を取り入れる。 [ppt.or.jp](#)

主催: 一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京

フランス音楽の伝統を受け継ぎ、フランス作曲界の巨星モーリス・ラヴェル(1875-1937)にその才能を見出されたジャン・フランセ(1912-97)が1977年に作曲したクラリネット五重奏曲は、メロディックで随所にエスプリを感じさせる洒落なセンスが光る佳品。ラヴェルのハーブとフルート、クラリネットそして弦楽四重奏のための七重奏曲という特徴的な編成を持つ『序奏とアレグロ』は、20世紀初頭におけるハーブという楽器の発展にも寄与し、その憂いを帯びた洗練された音楽は、聴き手をパリのベル・エポックの時へと誘います。

そして、数多ある室内楽曲の中でも傑作の一つとして名高いのがヨハネス・ブラームス(1833-1897)のクラリネット五重奏曲。ブラームス最晩年の作品で、人生の悲喜交々一美や喜び、内省、メランコリーが完璧に調和しています。この長大な音楽の旅路の果てに見出される“愛”が、私たちの心に灯を与えてくれますように。

[クラリネット]

亀井良信 Yoshinobu Kamei, Clarinet



愛知県名古屋生まれ。9歳のときに父のほだきで、クラリネットを始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)卒業後、渡仏。パリ市12区立ポール・デュカ音楽院、オーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方国立音楽院をいずれも満場一致の1位で卒業する。ピエール・ブーレーズに認められフランスの騎馬オペラ団“ジジガロ劇団”のスペクタクル“TRIPTIK”でソリストとして世界ツアーに参加。2年8ヶ月間300公演以上出演。2003年帰国。各地のホールに招かれリサイタルや室内演奏会を行っている。CD「Rhapsodie」「Cantabile」「Romanze」(オクタヴィア・レコード)が「レコード芸術」特選盤に選ばれている。第16回出光音楽賞、2005年度アリオ賞、2009年度名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。桐朋学園大学教授。パシフィックフィルハーモニア東京特別首席クラリネット奏者。

[ヴァイオリン]

塩貝みつる Mitsuru Shiogai, Violin



桐朋学園大学ソリストディプロマ修了。ハンブルク州立フィルハーモニー管弦楽団にアソシエイト・コンサートマスターとして12年在籍。ハンブルクトリオ、KIZUNA Quartettのメンバー。ソリストとしてウィーン交響楽団とウィーン・ムジックフェラインで協演。室内楽ではエルプフィルハーモニー、セントペテルブルクフィルハーモニーなどのコンサートシリーズや数々の音楽祭から招聘される。現在国内に拠点を移し、欧州と日本で活躍。NHK-AM、FM「ベストオブクラシック」「FMリサイタル」に出演。2022年東京・春・音楽祭とシュタイヤー音楽祭(オーストリア)にてブラームスソナタ全曲コンサートを行う。23年GENUIN classicsからCD「Verklärte Nacht」(浄夜)をリリース。23年よりパシフィックフィルハーモニア東京ソロコンサートマスター。

[ヴァイオリン]

菅谷 史 Fumi Sugaya, Violin



千葉県茂原市出身。6歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学カレッジディプロマコース修了。在学中より倉敷音楽祭、小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン若い人のための勉強会、ロストロポーヴィチ、小澤征爾率いるキャラヴァンコンサートに度々参加。またサイトウ・キネンフェスティバル松本、水戸室内管弦楽団、東京オペラの森など参加。音楽祭を通じて室内楽をロバート・マン、原田禎夫、豊嶋泰嗣、岡田信夫氏等のマスタークラスを受ける。これまでに桜木弘子、鈴木愛子、磯野順子、原田幸一郎の各氏に師事。パシフィックフィルハーモニア東京ヴァイオリン奏者。

[ヴィオラ]

鈴木慧悟 Keigo Suzuki, Viola



桐朋女子高等学校音楽科卒業後ヴィオラに転向。桐朋学園大学で佐々木亮、カーティス音楽院でロベルト・ディアス、ソフィア王妃高等音楽院で今井信子の各氏に師事。ヴィオラスペース、クロンベルクアカデミーフェスティバルなどでタペア・ツィンマーマンやアントワン・タメスティらからも指導を受ける。ソリストとして名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。アメリカ留学中はProfessional Development Training Orchestra "Symphony in C"に所属し研鑽を積む。Proseur Albéniz Quartetとして国王・女王陛下ご臨席のマドリッド王宮の他、March財団コンサートシリーズ、ウベダ・バサエ古音楽祭などスペイン各地で演奏。帰国後は複数のオーケストラで客演首席奏者を務める。パシフィックフィルハーモニア東京首席ヴィオラ奏者。

[チェロ]

松本ゆり子 Yuriko Matsumoto, Cello



東京藝術大学音楽学部卒業、大学院修士課程(室内楽)修了。1995年～2003年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団奏者、2018年～芥川也寸志メモリアルオーケストラ・ニッポンカ桂冠首席奏者、2020年～パシフィックフィルハーモニア東京(旧 東京ニューシティ管弦楽団)特別首席奏者。活動は多岐にわたり、後進の指導や楽譜「チェロのしらべ」シリーズ(リットーミュージック刊)の監修も行っている。現在、上野学園短期大学非常勤講師、那須野が原文化振興財団オーケストラ養成講座講師。

[フルート(ゲスト)]

難波 薫 Kaoru Namba, Flute



11歳よりフルートを始める。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。日本管打楽器コンクール第2位、日本木管コンクール第1位など、数々のコンクールで入賞後、ソリストとして新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等、オーケストラと共演を重ねる。小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン・フェスティバルに出演。CD「フルート・レボリューション」を発表。フルートを三宅貴子、峰岸壮一、白尾彰、工藤重典の各氏に、室内楽を藤井一興、鈴木良昭の各氏に師事。現在、日本フィルハーモニー交響楽団と紀尾井ホール室内管弦楽団でフルート奏者を務め、ソロや室内楽でも活動している。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

[ハーブ]

篠崎和子 Kazuko Shinozaki, Harp



桐朋学園大学、ニース音楽院を審査員満場一致の金メダルを得て卒業。草加-日本国際ハーブコンクール・ヤング部門優勝、リリー・ラスキーズ国際ハーブコンクール・ジュニア部門第2位、UFAM国際音楽コンクール・ハーブ上級部門第1位、USA国際ハーブコンクール入賞等、国内外のコンクールで多くの受賞歴を誇る。エクソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞、出光音楽賞受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員として2年間フランスへ留学。帰国して以来、日本や中国の主要オーケストラとの共演をはじめ、各地でのリサイタルや室内楽の演奏会に出演。また、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭等にも参加している。2002年、ファーストアルバム「塔の中の王妃」でCDソロデビュー。その他、フルートの工藤重典氏との「モーツァルト：フルートとハーブのための協奏曲k.299」(Meister Music)等がリリースされている。現在、桐朋学園大学非常勤講師。パシフィックフィルハーモニア東京特別首席ハーブ奏者。

パシフィックフィルハーモニア東京

PACIFIC PHILHARMONIA TOKYO

1990年に設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、音楽鑑賞、レコーディング、テレビ・ラジオ出演など幅広く活動。また2017年からポップス定期演奏会を開催し、アニメ・ゲーム音楽など各界のアーティストと共演を続けている。2018年からは楽団誕生の地である練馬で練馬定期演奏会を開催し、地元へ根差した活動も行っている。2022年4月には飯森範親が音楽監督に就任し、さらに楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称して、更なる飛躍を目指す。音楽監督/飯森範親、指揮者/園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー/藤原いくろう

パシフィックフィルハーモニア東京の最新情報や
公演活動については、公式HP・SNSをご覧ください。



WEB



X(旧Twitter)



Instagram



Facebook